

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 電子情報コース 助教 川上 太知

項目	取組状況
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成29年度担当科目 電気回路Ⅱ（4E）、電子情報実験Ⅱ（4E）、基礎研究（4E）、 電気機器Ⅱ（5E）、卒業研究（5E）、パワーエレクトロニクス（5H）、</li> <li>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点） <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気回路Ⅱ・電気機器Ⅱ・パワーエレクトロニクスでは授業プリントを配布し、 パワーポイント内で必要事項を虫食い状態にし、授業の進行に合わせて 適宜虫食い箇所を表示し、学生たちの授業プリントに記入させるようにした。</li> </ul> </li> <li>◆ 特記すべき教育方法の実践例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントなので次年度以降も継続して使用できるうえに、ブラッシュアップも 容易となる。また、時間の把握もし易いだけでなく、別の先生への引継ぎも容易となる。</li> </ul> </li> </ul>
研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成26～28年度における研究業績 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学術論文執筆 <ul style="list-style-type: none"> <li>・川上太知・山本真義：「マルチフェーズ方式 DC-DC コンバータの数学モデリングに おける低次元化手法の提案」, 電気学会部門誌 D, Vol.137, No.3 (H29. 3)</li> <li>・Shota Kimura, Kimihiro Nanamori, Taichi Kawakami, Mostafa Noah, Masayoshi Yamamoto, Jun Imaoka, “Allowable Power Analysis and Comparison for High Power Density DC-DC Converters with Integrated Magnetic Components “, 電気学会英文論文誌 D (条件付き掲載決定)</li> </ul> </li> <li>■ 国際会議での発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Taichi Kawakami, Hiroataka Tanada, and Masayoshi Yamamoto,” Verification by Current Control of Multi-phase Transformer-Linked Type Boost Chopper Circuit Using Current Sensorless Method” , in Proc. IEEE Energy Conversion Congress &amp; Expo. (ECCE), pp. 4960-4966(2014)</li> </ul> </li> <li>■ 学術講演会での発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・川上太知・山本真義：「マルチフェーズ方式 DC-DC コンバータの数学モデリングに おける低次元化手法の提案」, 平成28年電気学会産業応用部門大会, pp. 71-76(2016) 他8件</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 平成26～28年度における公開講座・出前授業の取組状況 岡山大学でパワーエレクトロニクスにおける制御工学に関する集中講義の開催 (2日間：計8時間)：(H29. 3)</li> </ul>